

メガソーラーに採用
延線工事20%省力化

古河電気工業らの低圧
アルミ導体ケーブル

古河電気工業と古河電工
産業電線（東京都荒川区、
白坂有生社長）が製造する
高機能型低圧アルミ導体C
Vケーブル「らくらくアル
ミケーブル」が、鹿児島県

の阿久根第一・第二太陽光
発電所の建設工事に採用さ
れた。新製品の6600^{ワット}
用のケーブルを初めて納入
し、既存製品の600^{ワット}用
のケーブルと合わせて、発
電所建設で延線工事の省力
化・省人化・効率化に貢献
し、約20%の省力化を実現
した。

は、ケーブル導体にアルミ
ニウムを採用し、一般的な
銅導体ケーブルと比較して
30〜50%の軽さ。延線作業
の効率化により工期の短縮
を実現できる。

同工事では、60平方^{メートル}の
ケーブルを447^{メートル}、10
0平方^{メートル}のケーブルを27
99^{メートル}、400平方^{メートル}のケ
ーブルを2098^{メートル}納入し

た。施工した大鹿電業は
「600^{ワット}と6600^{ワット}の
アルミ導体CVケーブルの
採用は、軽量化による省力
化効果を狙ったもので、実
際に約20%の削減効果があ
った。作業員の疲労もかな
り軽減された。ケーブルの
端末処理のブラッシング工
程も慣れれば問題ない」と
評価した。

